



アンケート調査結果を集計・分析しよう

集計をしたら、課題解決に向けて分析をしよう。大きい順に並べたり、割合を求めたりすると、結果がだんだん見えてくる。さらに男女別、学年別などで区分して集計すると、もっと詳しい分析ができる。

STEP 5 アンケート調査結果を集計しよう

- 集計は、「正」の字などで数えながら、正確に行う。
- 集計結果の合計が、アンケートを答えた人数と合うようにする。
- その他の欄に記入された内容も集計結果に書きこもう。

「その他」や「未回答※」も大切なデータだから、集計に入れるのがポイント！

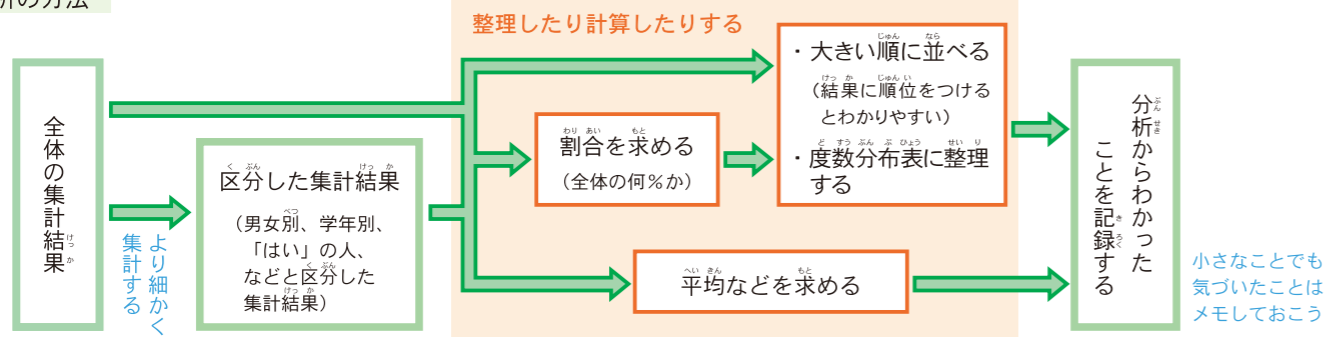


※「未回答」とは、答えてくれなかった人（または答え忘れた人）の数のこと

STEP 6 集計結果を分析しよう

- はじめにやってみるとよい分析は、結果を大きい順に並べること。
- 算数の授業で割合や平均を習ったら、その計算にもチャレンジしよう。
- 男女別、学年別、「はい」と答えた人だけ、などと集団を区分して集計すると、さらに詳しい分析ができる。

分析の方法



集計と分析の例

アンケート集計・分析結果

①今年の「みこし祭」に参加したか

回答	(人)
参加した	12
見に行った	25
行かなかった	55
合計	92

②-1 参加したのは何回目か

回答	(人)	平均
1回目	2	2.5回
2回目	4	
3回目	5	
4回目	0	
5回目	1	
合計	12	

分析メモ
平均が2.5回ということは、2～3回目のリピーターが多い！

②-3 どうして行かなかったのか

回答	(人)	順位
知らなかった	32	1
他の予定があった	7	3
興味が無い	11	2
その他(参加方法を知らない など)	3	4
未回答	2	5
合計	55	

②-2 来年はみこしきかつぎたいか

回答	(人)	割合
はい	17	68%
いいえ	8	32%
合計	25	100%

分析メモ
この17人だけを区分して集計してみると、このうちの15人が、質問③で「飛び入り参加できるようにする」と答えている。見ていると参加したくなるんだね。

分析したことをグラフにしよう

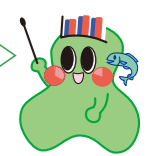
表だけではわかりづらかった調査結果も、グラフにすると一目瞭然、結果がはっきり見えてくる。算数で習ったグラフのかき方を思い出しながら、相手に正しく伝わるグラフをかこう。



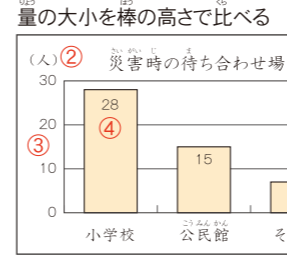
STEP 7 分析結果をどんなグラフで表すか考えよう

- グラフには、折れ線グラフ、棒グラフ、円グラフなど、いろいろな種類がある。
- グラフの特性を知って、自分の伝えたいことが正しく伝わるグラフを選ぼう。

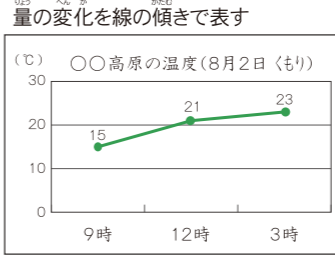
グラフをかく時は、23ページの「正しく伝わるグラフはどちら？」も参考にして、正しく伝えよう。



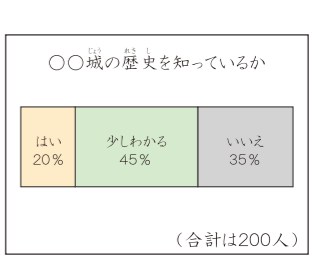
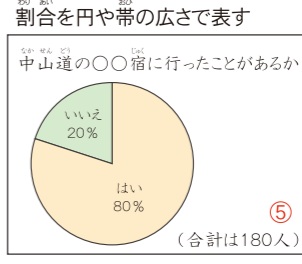
棒グラフ



折れ線グラフ



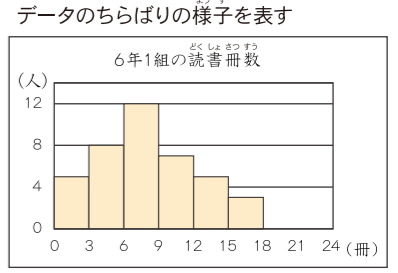
円グラフ・帯グラフ



STEP 8 正しく伝わるグラフをかこう

- グラフをかく時には、①～⑤のことを書くことで、正しく伝わるグラフとなる。
- ①タイトル ひとつひとつのグラフにわかりやすいタイトルをつける。
 - ②単位 グラフで表している数の単位を書く。
 - ③目もり 目もりをつける。(幅を全部同じにして、ゼロを忘れない)
 - ④値 各項目の値をはっきり書く。
 - ⑤全体数 割合のグラフをかく場合、合計 (100%) の数を書く。

柱状グラフ (ヒストグラム)



グラフの例

①今年の「みこし祭」に参加したか

参加した	見に行った	行かなかった
12人	25人	55人

②-1 参加したのは何回目か

②-2 来年はみこしきかつぎたいか

②-3 どうして行かなかったのか